

薬物療法(1)

食事療法と運動療法を行っても血糖コントロールができないとき内服薬やインスリン注射を使い、健康な人と同じような血糖の値にすることが薬物療法を行う目的です。

薬物療法が開始されても食餌療法と運動療法をつづけることが大切です。

1. 経口剤

経口剤は症状によって使用する種類が違ってきます。

ビグアナイド薬

作用 : 肝臓から糖を出す働きを抑え、血糖値を下げる
薬剤名 : メトホルミン
適した方 : やや肥満
副作用 : 消化器症状(軟便など)

DPP4阻害薬

作用 : すい臓のインスリン分泌を促進する
薬剤名 : ジャヌビア、エクア、ネシーナ
適した方 : 特になし
副作用 : 低血糖(スルホニル尿素薬と併用の場合)

SGLT2阻害剤

作用 : 腎臓から尿糖排泄促進して高血糖改善する
薬剤名 : ジャディアンス、スーグラなど
適した方 : 肥満者(高齢者をのぞく)
副作用 : 脱水症、尿路感染

チアゾリジン誘導体

作用 : インスリンの効きをよくする
薬剤名 : アクトス
適した方 : 太りぎみ
副作用 : むくみ

α グルコシターゼ阻害薬

作用 : 小腸粘膜に作用し糖の消化を抑制し食後の高血糖を抑える
薬剤名 : グルコバイ、ベイスン、セイブル
適した方 : 食後血糖値だけが高い
副作用 : 消化器症状(腹満感など)

スルホニル尿素薬

作用 : すい臓のインスリン分泌を促進する
薬剤名 : アマリール、グリミクロン
適した方 : 空腹時血糖値が高い
副作用 : 低血糖

GLP-1経口薬

作用 : 高血糖時にすい臓からインスリン分泌を促す
薬剤名 : リベルサス
副作用 : 吐き気、満腹感

速効型インスリン分泌促進薬

作用 : すい臓のインスリン分泌を促進する
薬剤名 : ファスティック、グルファスト
適した方 : 食後の血糖値が高い
副作用 : 低血糖

イメグリミン

作用 : ミトコンドリアへの作用などによりインスリン分泌を促すことなどで血糖値を下げる
薬剤名 : ツイミーグ
副作用 : 吐き気、下痢、便秘

